



2023年3月9日

各 位

会社名 G - F A C T O R Y 株式会社
代表者名 代表取締役社長 片平 雅之
(コード： 3474 東証グロース)
問合せ先 専務取締役管理本部長 田口 由香子
(TEL. 03-5325-6868)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月23日に、グロース市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2022年12月時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年12月時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっており、流通株式比率については充たしておりません。今後も引き続き、上場維持基準を充たすために、各種取組を進めてまいります。

		流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合 状況及びそ の推移	2021年6月末時点 (移行基準日)	16,003 単位	8.3 億円	23.7%
	2022年12月末時点	16,245 単位	7.3 億円	23.9%
上場維持基準		1,000 単位	5 億円	25.0%
当初の計画に記載した計画期間		—	—	2025年12月末

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価 (2022年1月～2022年12月)

当社は、上場維持基準の適合に向けて当初計画を軸に進捗しており、現時点で変更の必要はないものと判断しております。なお、計画書において開示した取り組みの基本方針及び取組内容に関する進捗状況及び評価は以下のとおりです。

当社は、流動株式比率が基準である 25.0%を下回っております。

主な要因としましては、創業者であり代表取締役社長である片平雅之及びその他役員、並びに片平雅之が 100%の株式を保有する会社（以下、役員等という）で 71%超の株式を保有していることにあります。一方で、当社は将来の成長及び事業拡大に向けた積極的な投資を行う過程にあり、経営安定化のため、経営陣が一定の割合を保有する必要があると考えております。したがって、会社の成長及び事業拡大を推進するとともに、上場維持基準を充たすために段階的に流通株式比率の向上を図ってまいります。

2022 年 12 月期につきましては、事業の状況及び株価の動向等から、役員等から市場への売却は実行されておりませんが、当初の計画に記載したとおり 2025 年 12 月末を目途に上場維持基準を充たすために、具体的な売却の時期、手法等の協議を進めてまいります。

以上